

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社ネクストレベル	本社所在地	神奈川県
業種	情報通信業	総従業員数	12名
事業概要	WEBメディア事業、SaaS事業、アプリ事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク制度概要
テレワーク担当部署	経営企画
テレワーク対象者	全職種
実施者数	12名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年6月頃から拡大してきた新型コロナ禍を機にテレワークの体制を整えた。
- 2021年2月にテレワークの不便さを解消するために「フレンダー」を自社開発し、フルリモートでもオフィス出社と遜色ない業務スタイルを確立することに成功。

テレワークの概要・特徴

- 出社したメンバーと在宅のメンバーがひと目で分かる
- 部署ごとに部屋が作られており入室ボタンを押して話かけるとすぐに会話が可能
- 会話が長引きそうな場合はワンクリックでWEB会議室へ移動
- 議事録機能を使うと、WEB会議の議題や決まったことを上司や他のメンバーにチャットやメールで共有可能
- この議事録機能は録画や録音も可能で、商談や面談時の振り返りなどに威力を発揮するためリアル商談よりも優れた面をもつ

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- フレンダーを業務プラットフォームとして利用するようになってから、WEB会議をするまでも無いちょっとした確認事項をスムーズに行うことができ、それまでのテレワーク環境が大きく改善された。
- これにより、売上、粗利が向上し、さらに新規採用を増やすことができた。
- その新規採用者は、三重県と香川県に在住の完全フルリモートのスタッフであり、フレンダーを開発することで実現できた。
- テレワークを制度化したことで通勤時間が大幅に削減され、生産性が向上したことも大きい。
- 特に育児中や小学校のお子さんがいるスタッフは顕著である。